



講師に質問する参加者たち

3/27 お化粧で出かけたい気分 建浜区でメイクアップ講座開催

町は、包括連携協定を締結している（株）ディーエイチシーから講師を招き、建浜区公民館でメイクアップ講座を開催しました。

この日は約 20 人の区民が参加し、講師からメイクや頭皮マッサージの方法などを教わりました。

講師は「お化粧をすると気分が明るくなり、外出意欲が沸きます。外出は健康にも良く、認知症予防にもつながるので、皆さんお化粧を楽しんでください」と参加者へ話しました。



最後には全員で「ふるさと」を合唱しました

3/28 皆さんに喜んでもらいたい 長洲カラオケ愛好会が聖ルカ苑を慰問

長洲カラオケ愛好会（久山守会長）は、介護老人保健施設聖ルカ苑を慰問しました。これは、入所者に楽しい時間を過ごしてほしいとの思いで行っているもので、聖ルカ苑への慰問は3回目。

この日は愛好会 9 人が慰問し、入所者約 50 人に歌を披露しました。途中、入所者も歌を披露するなどの盛り上がりを見せました。

久山会長は「歌うことは元気の源にもなります。喜んでもらえてうれしいです。今後も年に 2 回ほどのペースで続けていきたいです」と話しました。



地元漁業者たちへ研究成果を報告する渡辺教授

3/27 干潟環境・水産資源が回復 福岡大学 水産試験研究報告会

熊本北部漁業協同組合で、福岡大学が研究を進めているフルボ酸鉄シリカ資材（水質浄化作用）を活用した実証実験、研究成果の報告会が開催されました。

これは、町・熊本北部漁業協同組合・福岡大学が連携して行うもので 3 年目の取り組みです。ことしの報告会では、関係機関のほか地元の漁業者約 60 人が参加し、干潟環境・水産資源（あさり貝）が回復していることなどが報告されました。

この取り組みを継続することで、将来、宝の海と呼ばれるような有明海になることが期待されます。



中逸町長も協定の締結に立ち会いました

3/28 大規模災害時の協力体制を強化 三池海保と造船 2 社が協定

三池海上保安部（森信和久部長）は、町役場でジャパンマリンユナイテッド有明事業所、日立造船有明工場の 2 社と、大規模な災害の発生時などにおける施設借用の協力などを約束した協定を締結しました。

これは、大規模災害により三池港が被災した場合、巡視船による物資補給などの際に両社保有の専用岸壁を使用するもので、民間企業と連携するのは全国的にも珍しい取り組みです。

造船 2 社は「船の故障やメンテナンスは両社の得意分野。全力で対応したい」と力強く話しました。



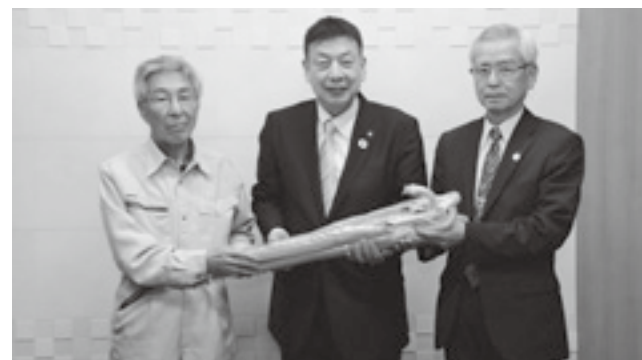
タイムカプセルを校庭に埋める清里小 6 年生たち

3/20 20 歳の自分へ 小学校 6 年生がタイムカプセルを埋め込み

長洲有明ライオンズクラブ（木下紳会長）は、町内の小学校 6 年生を対象に毎年行っている、タイムカプセル埋め込みを行いました。

埋め込みは各小学校で行われ、この春、町内小学校を卒業した 6 年生たちは、「20 歳の自分への手紙」や「写真」などの思い出の品を校内に残しました。また、腹赤小学校では体育館にカプセルを保管し、子どもたちからは「成人式を迎えるのがいまから楽しみ」などの声が上がりました。

タイムカプセルは、8 年後の成人式に母校に集まり、開封されます。



交通安全の黄色い傘を寄贈する島永さん（左）

3/26 子どもたちの安全を守りたい 島永さんが黄色い傘を寄贈

島永邦生さん（新山区）は、町役場を訪れ、交通安全の黄色い傘 128 本を寄贈しました。

これは、子どもたちの交通事故防止を願って、新小学 1 年生に傘を贈っているもので、ことしで 2 回目の取り組みです。贈られた傘は、4 月 10 日に行われた各小学校の入学式で、新 1 年生全員に配られました。

島永さんは「新 1 年生の皆さん、入学おめでとうございます。交通事故に気を付けて、元気に通学してもらえればうれしいです」と話しました。



きれいな卵焼きができました

3/19 公民館・介護予防拠点事業 磯町区で男性料理教室を開催

磯町区（木下信博区長）は、磯の館で男性料理教室を開催しました。

これは、男性も日頃から料理に慣れ、一人でも食事ができるようになるために、今回初めて開催したもので、男性 7 人と補助として女性 5 人が参加しました。

普段から料理をしているという参加者が多く、ほとんどの作業を男性の参加者で行いました。参加者からは「よい経験になった。大勢で集まって食べるとおいしい」などの声があがり、和やかな雰囲気の教室となりました。



長洲中、腹赤中の生徒会と意見交換しました

3/26 協議会の活動を知ってほしい 民生委員・児童委員と中学生が交流

民生委員・児童委員協議会（宮崎ミツエ会長）は、町中央公民館で町内中学校の生徒会と交流会を開催しました。

これは、生徒会が学校のリーダーとしての資質を高めるとともに、協議会の活動を知ってもらうために毎年行っているもので、総勢 70 人が参加しました。交流会では「よりよい町づくりをしていくためには」をテーマに活発な意見交換が交わされました。

また、5 月は 12 日から 18 日にかけて活動強化週間と題し、民生委員・児童委員が朝の通学の見守りやあいさつ運動を実施します。



中学生代表の諫山さん

4/3 平和への決意を新たに 平成30年度戦没者追悼式

平成30年度戦没者追悼式がながす未来館で行われ、戦没者に祈りを捧げました。

式典の中で町遺族連合会の松下進会長は「今日の平和があるのは戦没者の尊い犠牲の上にあることを忘れず、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世代へ伝え続けることで恒久平和が続くよう努力したい」と戦没者への誓いを述べました。

また、腹栄中学校3年生の諫山宝洋さんが「悲惨な戦争を二度と繰り返さないようにするために、戦争経験者から教わった教訓を後世に残したい」と平和への願いを朗読しました。



左から戸越教育長、甲斐校長、津田会長、望月事務局長

4/9 地域の皆さんに役立ててほしい 長洲友の会が長洲小へ放送機器を寄贈

長洲友の会（津田悦司会長）は、長洲小学校を訪問し、体育館用の放送機器を寄贈しました。

これは、長洲友の会が地元に貢献したいという想いで、地域の清掃活動などに取り組んでいる活動の一環で寄贈されたものです。寄贈された放送機器は、翌日に行われた入学式で早速使用されました。

甲斐校長は「子どもたちだけでなく、体育館は地域の皆さんも使用することがあるので、大変ありがたいです。みんなで大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。



目録を渡す中村工場長（左）と中逸町長（右）

4/2 長洲町合併 60 周年を祝って 日立造船(株)有明工場から町へテレビを寄贈

日立造船株式会社有明工場（中村敦工場長）が町役場を訪れ、町に 50 型 4K テレビとテレビ台の目録贈呈を行い、中逸町長から感謝状が贈られました。

これは、平成 29 年度に長洲町が合併 60 周年を迎えたことを記念して、地域の皆さんに役立ててほしいと贈られたものです。寄贈されたテレビはながす未来館に設置されています。

中村工場長は「多くの人に活用していただければうれしいです」と話しました。



左から戸越教育長、松本交通課長、山口会長

4/4 子どもたちを交通事故から守りたい 交通安全協会が交通安全グッズを寄贈

荒尾地区交通安全協会（山口賢一会長）と荒尾警察署（松本武揚交通課長）は、町役場を訪れ、子どもたちのために交通安全グッズを寄贈しました。

これは、新入生に安全な学校生活を送ってほしいと毎年寄贈されているもので、新小学 1 年生にはランドセルカバー、新中学 1 年生には反射タスキが贈られました。また、町内小学校、幼稚園、保育園に飛び出し注意ののぼりも贈られました。

山口会長は「子どもたちの安心・安全に役立ててほしい」と話しました。